公共工事発注者に求められる技術力と責任

公共工事における 積算マネジメント

木下 誠也 編著

2018年4月発刊

A5判 250頁 定価3,520円(本体3,200円+税)

執筆者一覧

木下 誠也(編著)
日本大学 危機管理学部 教授

埜本 信一
一般社団法人 国際建設技術協会 技術顧問

芳賀 昭彦
一般財団法人 経済調査会 技術顧問

和田 祐二
一般財団法人 経済調査会 技術顧問

推薦

受発注者双方にとって、現在の公共工事の積算における運用の実際を理解する上で、極めて意義の大きい図書と思います――

(推薦のことばより)

東京大学大学院工学系研究科 教授 小澤 一雅

要旨

2014年に品確法が改正され,適正な予定価格の設定と適正な契約変更・支払いにより受注者の適正な利益を確保するなど,発注者の責任が法律で明確に規定されましたが,実際にはまだまだ趣旨どおりに運用されているとはいいきれない状況です。

本書は改正品確法の趣旨を踏まえた上,積算に焦点を絞り,公共土木事業の各段階において,それぞれに応じた積算をしていくことの必要性を説いています。ここでは,建設プロジェクトのライフサイクルのうち,調査,設計,積算を経て工事を実施し,構造物を完成するまでの過程について,コストを適正に管理する手法を「積算マネジメント」と称します。ライフサイクルコストの中でも初期投資部分に注目し,建設工事を完了するまでの過程を取り上げ,公共工事の積算のあるべき姿を探っていきます。

目次

第1章 積算マネジメント

1-1 積算マネジメントとは

第2章 積算マネジメントが必要な背景

2-1 公共工事の特性
2-2 公共工事のコストを巡る事件と論調
2-3 品確法の動き
2-4 予定価格制度に関する課題
2-5 プロジェクトにおける予算額増加の要因
2-6 適正な価格とは
2-7 価格決定構造についてのまとめ
2-8 最近の取組み

第3章 土木工事の積算

3-1 積算基準
3-2 請負工事費の構成
3-3 直接工事費の積算
3-4 間接工事費および一般管理費等の積算

第4章 契約変更と積算

4-1 工事費増額のメカニズム
4-2 公共工事標準請負契約約款
4-3 設計変更に関する改正品確法の規定
4-4 設計変更ガイドライン

第5章 会計検査制度と積算

5-1 会計検査制度
5-2 過大も過小も誤り、違算の防止に向けて
5-3 設計変更と落札率
5-4 現場と市場を反映した適正な積算と適切な説明を行うこと

第6章 米国における公共事業の段階的積算システム

6-1 米国の土木工事を主体とする公共事業
6-2 公共事業の段階的実施プロセス
6-3 事業費の積算レビュー
6-4 公共工事の入札・契約規定